

福岡県労連

KEN ROREN

ZENROREN

2024 6月号 No.210

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822

編集発行
福岡県労働組合総連合 [定価]
福岡県労連 検索 1部10円

特集

今こそ平和を考える

北九州空港・博多港 自衛隊使用可の特定利用空港・港湾に選定

都道府県	名称	管理者
空港	福岡県 北九州空港	国
	長崎県 長崎空港	国
	福岡県 福江空港	長崎県
	宮崎県 宮崎空港	国
沖縄県 那覇空港	国	
港湾	北海道 室蘭港	室蘭市
	北海道 釧路港	釧路市
	北海道 留萌港	留萌市
	北海道 苫小牧港	管理組合
	北海道 石狩湾新港	管理組合
	香川県 高松港	香川県
	高知県 高知港	高知県
	高知県 須崎港	高知県
	高知県 宿毛港湾	高知県
	福岡県 博多港	福岡市
	沖縄県 石垣港	石垣市

有事に備えて整備する『特定利用空港・港湾』

4月1日、政府は防衛力強化の一環として、有事の際に自衛隊や海上保安庁の使用を想定する「特定利用空港・港湾」に北九州空港・博多港など計16か所を選定し、2024年度に整備を始めること発表しました。

空港では戦闘機や輸送機の離着陸が可能となる滑走路延伸と駐機場の整備が行われ、港湾では輸送艦や護衛艦の接岸に向けて海底の掘り下げが行われます。住民からは「有事に

まず、ニューズ記事をもとに最近おこった出来事を2つご紹介します。

6月3日、熊本市内で開かれた九州知事会で政府の「台湾有事を想定した沖縄宮古島など先島諸島の住民の避難計画案」が各県知事に説明され、了承されました。この計画によると計12万人の避難者を想定し、8県に輸送手段の確保・宿泊所の手配などの初期計画を来年2月までに策定するよう求めています。

1、身近に迫る戦争準備

2022年末に有名タレントが「新しい戦前」と発言したのが話題になりましたが、今年になって急速に現実味を帯びてきています。ウクライナ戦争は終わりが見えず、中東ではイスラエルとハマスの対立からガザ地区でも無差別攻撃が行われています。不安定な国際情勢だけではなく日本においても台湾有事の危機が煽られ、軍備増強・防衛費増大・各地で基地強化が行われています。

本稿では、同じ道を繰り返さないために「新しい戦前」と言われる今だからこそ、平和を守るために何が必要なのかを考えます。

これに対し宮古島の住民からは「避難と疎開を必要とする事態は何なのか説明もなく、強制的に私たちが土地から引き離すことにはあってはならない」と

この2つの出来事に共通しているのは具体的なことは何も説明がされず、有事が起こった際の備えとして政府の一方的な施策が実行されているということ。しかし、例え「有事の備え」であっても住民の権利を無視していいのでしょうか。また、政府が理由として挙げている「有事の備え」というのは住民の権利を無視してまでも

2、「台湾有事」というシナリオへの疑問

政府が想定している有事とは「台湾有事」といわれる中国による台湾への軍事侵攻を想定したシナリオのことです。中国の習近平国家主席は台湾を不可分の領土とし、「一つの中国」の原則は果たされなければならない。そのため必要な武力行使について否定しない

と発言しています。これに対し米国のバイデン大統領は有事の際には軍事的な関与も辞さないと言っています。当の台湾では独立をめぐり民進党が与党となったことで中国との対立を深めています。この台湾をめぐる緊迫した状況に日本も巻き込まれるのでは

と示されています。つまり中国との外交関係を重視して平和的な解決を求める立ち位置と、これを表明している立ち位置と最近すめられている「有事の備え」は真逆の行動のようにも思えます。

また、2027年度には防衛費と関連経費を合わせた予算をこれまでのGDP(国民総



いかということ、最近特に「有事の備え」ということが強調されるようになりました。

日本の外務省のホームページには「台湾との関係に関する日本の基本的立場は、日中共同声明※にあるとおりであり、台湾をめぐる関係が兩岸の当事者間の直接の話し合いを通じて、平和的に解決されることを希望する」と示されています。

ここ最近すめられている軍備増強・防衛費増大・基地強化のそもそもの発端は、2022年12月に岸田政権が発表した安保関連3文書(国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛整備計画)の改訂の閣議決定です。この安保3文書改訂では3つのものが同時に改訂されました。

まず「国家安全保障戦略」は2013年12月に安倍政権の下で策定されたもので、今回の改定ではこれまでの政府が憲法上認められないとしてきた「敵基地攻撃能力」を「反撃能力」との呼称で保有することが明記されました。

また、2027年度には防衛費と関連経費を合わせた予算をこれまでのGDP(国民総

《続編は次号に掲載》

行わなければならないことなのでしょうか。

3、転換点となった安保3文書改訂

新防衛3文書で転換する安保政策	
反撃能力	戦後、政策判断で持たずにきた反撃能力の保有を決定。米製トマホークなど長射程ミサイルを導入
防衛予算	27年度の防衛関連費をGDP比2%へ倍増。歴代内閣が目安としてきた1%枠を打破
対中認識	新安保戦略で中国の動きを国際秩序への「最大の挑戦」と明記。現行の「懸念」から表現強める
継戦能力	必要な弾薬・部品を調達する方針に。脅威を直視しない「基盤的防衛力構想」の考え方から脱却
装備品移転	防衛装備品を輸出する条件を定めた「三原則」の見直しを明記。品目や相手国の拡大を想定

生産)比1%の枠にとどめるとしていたものを倍の2%に増額する方針が掲げられました。次に「防衛力整備計画」では、長距離ミサイルの量産取得や米国産のトマホークの導入、イーリス・システム搭載艦の整備などがあげられ、その所要経費として23年から27年度の5年間で防衛力整備予算を現行の1.5倍の43兆円とすることが示されました。

この安保3文書改訂により「憲法をもとに専守防衛に徹し、軍事大国にならない」としてきた戦後の安全保障政策は大きく転換することになりました。

また、43兆円とされた軍事費増額の財源については、「財源確保法」により防衛力強化資金を新設し、病院を運営する独立行政法人の国立病院機構(NHO)と地域医療機能推進機構(JCHO)の積立金746億円を国庫返納させるなどして1.5兆円を確保し、その他国有資産の売却により3.1兆円を集めるとしましたが、残り増税により確保されることとなります。



申入書を九州防衛局担当者に渡す前田弁護士

36団体 九州防衛局に要請 北九州空港 博多港 特定利用外せ

5月29日、平和をあきらめない北九州ネットワークなど36団体、20数名で九州防衛局に「北九州空港および博多港を特定利用空港・港湾から外すこと」などを求めて要請行

り生活を困難にさせている(金融・消費問題)、日本型雇用を前提とした制度であるのにその雇用制度が崩れている(雇用・労働問題)という問題であるということの詳細な資料でわかりやすく説明されました。

また学費高騰により有利子奨学金(学生ローン)が拡大していることや経済格差による教育格差を容認するような国民の意識の問題などについて指摘さ

れ、一方で海外では国際人権A規約による無償教育や給付型奨学金が広まっていることや奨学金返還支援制度を取り入れる企業が増えていることが紹介されました。

←この講演については福岡県労連YouTubeチャンネルで視聴できます。

5月30日、福岡県労連青年部主催で「奨学金問題についてみんなで考える学習会」を開催しました。

講師は全労連青年部書記長で「奨学金の会」の事務局もされている稲葉美奈子さんで、奨学金問題とは教育を受ける権利を守る制度が貧困を固定させる装置になっている(人権問題)、債務回収強化によ

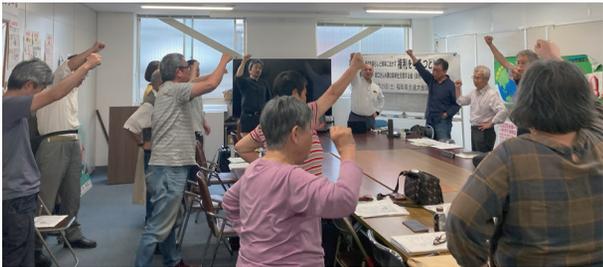


県労連青年部主催
奨学金問題をみんなで考える学習会

格差を容認する社会の変革を

動をおこないました。対応したのは報道官ともう1名の2名で、第2合同庁舎の入り口近くのロビーで立ったままの対応でした。まさに門前払いという対応でした。

要請行動では申入書を手渡し、各団体から発言を行い、市民が利用する空港・港湾であるのに住民説明をまったく行わず、自衛隊により訓練を超える運用を可能にする特定空港・港湾に指定されたことに強く抗議を行いました。



5月25日、日本国民救援会福岡県本部主催、県労連共催で「憲法を暮らしと職場にいかす、権利を守る集い」が

偽装請負裁判勝利へ団結

憲法を暮らしと職場にいかす、権利を守る集い

福岡県労連大会議室にて開催されました。つどいでは記念講演として福岡第一法律事務所 梶原弁護士から「雇用によらない働き方の問題点」についての講演があり、その後11人の裁判事件当事者・支援者からの訴えがありました。

またつどい後は「名ばかりラーメン店主偽装請負裁判を支援する会(仮称)決起集会」を開催し、当事者と弁護士から挨拶を受け、参加者全員で裁判勝利を誓い、団結がばらうを行いました。

第32回 非正規で働くなかまの全国交流集会in佐賀 正規・非正規の 人権を守る社会実現へ



6月1日、2日で、第32回非正規で働くなかまの全国交流集会in佐賀が開催されました。この非正規集会は毎年全国各地で会場に非正規労働者の待遇改善格差是正を求める運動を広げることが目的で開催されており、今年はお隣の佐賀県開催ということもあって、福岡から多くの仲間が参加しました。全体の参加者は400名でした。

深刻な労働実態に驚き

福岡県労連事務局次長 今井 淳子

私は、今回初めて佐賀非正規集會に参加しました。正規も非正規も共に人権を守られる社会を取り戻していかなければならないと感じました。

集會では、問題を改めて確認することができました。実際に会場には多くの非正規の方が参加、非正規の方が集會を主催することはまだまだ難しいのかなという課題も見えました。

2日目の分會では、非正規の基礎講座に参加しました。驚いたことに、非正規と正規の差は実質的にはわずかな30分の勤務時間の違いだったのです。正社員で働くのか、パートやアルバイトで働くのかという単純な雇用形態の選択が、こんなにも複雑で深刻な問題になっていたことに驚きました。いつの間にかこんな社会になってしまったのだらうと思いました。

佐賀非正規集會は、問題を共有し、解決に向けて行動を起こすための貴重な場でした。

今後も正規も非正規も共に人権を守る社会を取り戻すために、力を合わせて行動していく必要があると思います。



沖縄料理 「ハイサイ食堂」

全印総連 伊藤 友晴



オススメのお店!!



この店は、私が定年まで勤務していたころから利用しています。会社から徒歩3分のところにあり、組合の行事で利用しています。

お勧めは、飲み放題コースです。料理は、定番のシーサーサラダ、島豆腐のサラダ、ゴーヤチャンプル、海ブドウ、モズクの天ぷら、島ラッキョウの天ぷら等々10種類の料理が堪能できます。飲み物は、オリオンビール、泡盛、古酒、ハブ酒、ハイボール、各種ハイボール、日本酒、ワイン等取り揃えています。制限時間は3時間とお得です。

店内にはステージがあり、三線、ドラム、ギター、サックスがあり、ライブも開催されていて、店主の気分次第では三線の生演奏も聞け、飛び入りで、歌う事も出来るかもしれません。

席は、45席ありカウンター席も5席あり、1人でのチョイ飲みもOK、おまかせおつまみセット千円がお得です。ご当地にお寄りの際は、お立ち寄りを。

【住所】北九州市八幡西区光明2丁目10-4
【アクセス】JR折尾駅より徒歩約10分
【電話】092-692-1777
【営業時間】月~土、祝日、祝前日 18時~23時

編集後記

ひと月遅れながらメーデーの振り返りになります。私は毎年北九州会場に参加しています。今年は会場が勝山公園へ変更になり、パレードも行われる予定でした。コロナ以前のメーデーを知らないため少し楽しみにしていましたが、天候に恵まれずパレードは中止となってしま

いました。来年は晴天であることを願うばかりです。県労連新聞で他会場の様子を見ていると、福岡会場は参加団体の出展ブースやクイズ大会などがあつたようですね。雨の中でも賑やかで、活気のある様子が伝わってきました。来年は福岡会場まで行ってみようかなとも考えています。(M)